



NNA SINGAPORE PTE. LTD.

10 Anson Road, #14-08 International Plaza, Singapore 079903
Tel : 65-6738-3333 Fax : 65-6227-2995 E-mail : sales_in@nna.asia

KDN PP 11802/03/2011 (029362) MCI(P) 031/03/2018

太陽光パネルの寿命100年に 日系アルファ、印から革新起こす

「太陽光パネルの寿命は20~30年」 そんな常識を覆す製品の開発に、日本の企業が成功した。新興企業のアルファゼロス（本部・東京都港区）は、特殊フィルムを使うことでセルの劣化を防ぎ、100年を超える長寿命が見込める太陽光パネルを製品化。世界第3位の太陽光発電市場であるインドでの導入に向けて、ソフトバンクグループ関連会社と協議を進めている。【天野友紀子】



商談でインドを訪れたアルファゼロスの仲濱会長（右）と吉川副会長がNNAの取材に応じた=11月、ニューデリー

国際エネルギー機関・太陽光発電システム研究協力プログラム（IEA PVPS）のリポートによると、インドでは

昨年、9.1ギガワット（GW、1GW=100万キロワット）の太陽光発電システムが導入された。国別の年間導入量は日本（7.5GW）を抜き、中国（53.1GW）と米国（10.7GW）に次ぐ3位の規模に拡大した。

「インドの日射量は日本の2倍近くあり、インド政府は『太陽光はインドのためにあるエネルギー源だ』とまで言っている。電気事情の悪さといった国が抱える問題や電気自動車（EV）の普及政策を鑑みても、インドの太陽光発電市場の発展は疑いの余地がない。どこよりもまずインドに製品を入れて、革新技術を一気に広めたい」 アルファゼロスの仲濱秀斉会長は、そう力を込める。

NEDOで劣化の仕組みを解明

アルファゼロスは太陽光発電設備の架台の製造・販売を手掛けるアルファプロス（大阪市）を母体として、今年7月に設立された。

仲濱氏は三井化学で防水材料の開発を手掛け、日清紡

NEWS HEADLINES

【製造】太陽光パネルの寿命100年に 1
 【公益】SB傘下がハイブリッド発電落札、地元紙 3
 【電機】ダイキンが21年に第3工場、100億円投資 3
 【車両】二輪スズキ、累計生産台数400万台に到達 3
 【車両】タイヤTVS、増産に15億ルピー投資 4
 【IT】NEC、IITボンベイ校と共同研究で合意 4
 【IT】マレーシアのIT企業、インド同業の株式取得 4
 【運輸】高速鉄道倒しも、22年一部開業検討 4
 【運輸】トラックレンタル料、供給過剰で5%下落 5
 【運輸】インディゴ、ビジャヤワダ シンガポール直行便 5
 【鉄鋼】インド独自の鉄鋼品質検査、EUが異議 5
 【サービス】飲食店検索ゾマト、ドローン開発企業を買収 6
 【建設】建設L&T、南部の水処理施設など受注 6
 【製造】サガールセメント、同業2社を買収 6
 【製造】鍛造パールの株価、17年6月以降の最安値 6
 【製造】古紙輸入、中国の規制強化で急拡大 7
 【資源】政府、ガスパイプライン整備に7千億ルピー 7

【経済】特許付与件数、17年は1.2万件=WIPO 7
 【媒体】ツイッターのハッシュタグ、上位6位は映画 7
 【政治】カブール州全投票が無効に、アフガン下院選 8

アジア情報

【鉄鋼】アルミSUS、タイ事業に3年で20億円投資 8
 【車両】渦潮電機のeトライク、マニラでも導入開始 8
 【製造】東レ、マレーシアでABS樹脂の生産増強 8
 【経済】越企業ランク1位はサムスン、ホンダは9位 9

特集

【アジア三面記事】LGBTに罰金8千円 10
 【アジア・豪州経済統計】2018年12月 11

マーケット情報、その他

商品市況 12
 クロスレート 12
 マーケット情報 為替と株式 13

ホールディングス在籍時の 2012 年から 17 年にかけては新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の太陽電池関連技術・材料の開発プロジェクトを率いた経歴を持つ。NEDO の研究で太陽電池の劣化メカニズムを解明した仲濱氏は、在籍していた日清紡などで発電劣化防止技術の製品化を試みた。だが、技術が未完成であった点や「採算が見込めない」という理由から同意を得られず、独立することに。中国の太陽光発電業界にコネクションを持つアルファプロスと新会社を立ち上げ、製品化を目指すに至った。

太陽電池の劣化は、セルを守るためにかぶせているガラスから溶出するナトリウムによって生じる。ならばナトリウムの侵入を防ぐ透明なフィルムをセルとガラスの間に入れればよい。そういう発想で研究を進め、特殊オレフィンを使ったフィルムを開発した。フィルムは日本の化学繊維メーカーに生産を委託、フィルムを差し込んだ太陽光パネルは中国メーカーで組み立てる。「年初から中国の大手各社を行脚し、生産委託交渉を行った。『フィルムだけ売ってほしい』という要請もあったが、最終的に中国国営の C E C E P（中国節能環保集団）がパネルの量産を引き受けてくれることになった」

8 割の発電効率を 100 年以上維持

製品は今年 6 月に特許を出願し、11 月にドイツの製品安全認証機関テュフラインランド（TUV）の認証を得て販売に向けた土台を作った。アルファゼロスは TUV に依頼して、中国の太陽光パネル大手 4 社と自社のパネルの寿命（長期信頼性）を比較するための実験データも取得した。

太陽光パネルは一般的に、劣化率 20% 以下で 80% の発電効率を保てる期間を「製品保証期間」としている。アルファゼロスは TUV の実験で示された FF（曲線因子）や Isc（短絡電流）といった値を基に寿命を予測。比較対象の大手 4 社の製品のうち信頼性が最も高く、30 年の製品保証を行っているパネルを基準にすると、「アルファゼロスのパネルは 350 年にわたり 8 割以上の発電効率を保てる」という結果が出た。製品の採用実績がないため、同社はこういった試験・比較データを充実させ、稼働期間の長さをアピールすることで、大手事業者の説得を試みている。

パネル廃棄を最小限に

アルファゼロスが自社製品の拡販を急ぐ背景には、将来的に懸念されるパネル廃棄の問題がある。「環境に優しい」とされ普及が進む太陽光発電だが、パネルのセルの接合には人体や環境に有害な鉛が使われている。寿命を迎えたパネルは埋め立てで処理されるのが現状で、仲濱氏は「20～30 年後には廃棄場所や廃棄コストが必ず問題化する」と指摘。「当社のパネルを使ってメンテナンスを加えながら運用することで、100 年以上稼働できる太陽光発電所を増やしたい」と語る。

パネルの廃棄に関しては日本の経済産業省資源エネルギー庁も「寿命を 20～25 年と想定した場合、太陽電池モジュールの廃棄量は 2040 年前後に（日本だけで）年間 80 万トンに達する」との予測を含めたり報告を出し、問題提起。不法投棄や有害物質の流失を防ぐための制度の構築を進めている。

インドではソフトバンクグループの関連会社、日本では NTT グループ関連会社とそれぞれ契約に向けた交渉や製品評価を進めている。中国の太陽光パネル大手に向けてフィルムのみを供給する案件も同時進行中だ。

仲濱氏は「一定量受注できれば、他社の製品と同等のコストで販売できる。世界規模で太陽光発電事業を展開する大手と契約し、本当の意味で環境に優しい太陽光発電の普及を最短距離で実現したい」と意気込む。

<メモ>

インド政府は 2022 年までに、太陽光による総発電容量を 100 GW に引き上げる目標を掲げている。PTI 通信などによると、インドは今年上半期（1～6 月）に 4.9 GW の太陽光発電システムを新たに導入し、総発電容量は 6 月末時点で 24.6 GW となった。目標達成に向けて 22 年までにさらに 75.4 GW の導入を進める計算になる。

今年上半期の国別の太陽光発電導入量でインドは米国を上回り、世界 2 位となった。総発電容量では 6 月末時点で世界 5 位となっている。

PHOTO NEWS



インド憲法の草案作成者アンベードカル氏の命日だった 6 日、各地で記念式典が行われた = インド（PTI）

TAKE OFF

インドを訪問した際に路上で気になるのは、名物とも言えるオートリキシャ（三輪タクシー）ではなく、スズキの代表車種「ワゴン R」。日本で見慣れたはずのシルエットなのに、何かが違う。先月、スズキがパキスタンで日本規格の軽自動車生産を開始するとニュースが出たが、基本的に海外では税優遇を受けられる軽の規格は存在しない。そのため、日本の軽モデルはアジアで、排気量の大きなエンジンを搭載するなどの改良が施されるケースも多い。現行のインド版ワゴン R は、現地スタッフも参加して車体のデザインを変更。見て感じる違和感は、全長を延ばす時にフロントノーズも長くなつたためだ。道で見かけると「そっくりさん」のような印象で、「ワゴン R のフリしてるけど、自分みたいな誰やねん」と突っ込みを入れたくなる。愛きょうのある感じに、つい目が行ってしまう。（竹）

【インドー公益】

S B傘下がハイブリッド発電落札、地元紙

インドの経済紙エコノミック・タイムズ(電子版)が6日に伝えたところによると、ソフトバンク傘下のS Bエナジーがインド初のハイブリッド(複合)発電事業を落札した。

オークションにかけられたのは、太陽光と風力を組み合わせ合わせた複合発電事業。インド当局が120万キロワット(kW)の入札を実施し、S Bエナジーが45万kW、地場複合企業(コングロマリット)アダニ・グループ傘下のアダニ・グリーン・エナジーが39万kWをそれぞれ

落札した。応札は落札した2社のみだった。1キロワット時(kWh)当たりの売電価格はS Bエナジーが2.67ルピー(約4円)、アダニ・グリーン・エナジーが2.69ルピー。

ソフトバンクはインドの太陽光発電事業への投資に積極的。今年5月末時点で、同国で1.4ギガワット(GW、1GW=100万kW)分を受注したと伝えられている。

【インドー電機】

ダイキンが21年に第3工場、100億円投資

ダイキン工業はインドに家庭用エアコンの第3工場を設置する。投資額は100億円で2021年の稼働を目指す。既存の2工場と合わせて家庭用エアコンの年産能力を現状比2倍の200万台に引き上げ、現地での需要増に対応する。

年産能力100万台の新工場の建設に向け、西部と南部を候補地に年内に土地を取得する。現在は西部ラジャスタン州ニムラナで2工場を運営している。

ダイキンの広報担当者によると、インドで販売しているエアコンはほぼ現地での生産品だ。現在は大都市から地方都市へ営業範囲を広げ、拡大が見込まれる中間所得

層を中心に販売を強化している。増産を通じて、21年3月期にはインドでの売上高を18年3月期の2倍に相当する1,000億円に増やす。将来の構想として周辺国への輸出も視野に入れる。

インドのエアコン市場では地場財閥タタ・グループのボルタスや、韓国LG電子などが大手メーカーとして台頭する。ダイキンの推定によると、ルームエアコンは1位ボルタス、2位ダイキン、3位以降はLGやパナソニックなど。業務用は1位ダイキン、2位以降はキャリア、LGなどが続く。

【インドー車両】

二輪スズキ、累計生産台数400万台に到達

S M I P Lは、二輪車の累計生産台数が400万台に到達した=ハリヤナ州(同社提供)

インドで二輪車を展開するスズキの子会社スズキ・モーターサイクル・インディア(S M I P L)は5日、二輪車の累計生産台数が400万台を超えたと発表した。北

部ハリヤナ州グルガオン工場で2006年の生産開始から12年、17年4月の300万台達成から1年で400万台に達した。

S M I P Lは、20年までにシェアを倍増する計画を示している。内田聡社長は「顧客からの信頼感、ビジネス・パートナーや従業員の努力に感謝する」と謝意を述べ、「2018/19年度(4月~3月)の販売台数目標である75万台へ一歩近づいた」と述べた。

インド自動車工業会(S I A M)によると、18年4月~10月のS M I P Lの販売台数(出荷ベース)は前年同期比36.7%増の39万2,780台。シェアは2.9%だった。

S M I P Lは、インド国内で排気量125ccのスクーター「バークマン・ストリート」や「アクセス125」、モーターバイク「イントルーダー」と「ジクサー」などを展開する。

【インド—車両】

タイヤ T V S、増産に 15 億ルピー投資

タイヤの製造・販売を手掛けるインドの T V S スリチャクラは、2018/19 年度下半期(18 年 10 月~19 年 3 月)に二輪・三輪車用タイヤの増産に 15 億ルピー(約 24 億円)を投資する。国内のアフターサービス(修理・交換)市場と海外市場への出荷を増やす。ビジネス・ライン(電子版)が 5 日伝えた。

T V S は 18/19 年度上半期に、マドゥライ工場(南部タミルナド州)とルドラプール工場(北部ウッタラカンド州)の月産能力を 17/18 年度の 250 万本から 270 万本に引き上げた。ビジャヤラガバン取締役によると、下半期でも同 2 工場の生産能力を増強する。ただ、具体的な本数は示していない。

T V S スリチャクラはコングロマリット(複合企業) T V S グループの傘下企業。同社は過去 3 年間に、二輪車のアフターサービス市場で販売を伸ばしてきた。大手は M R F、C E A T (シート)、T V S の 3 社で、最近では新規参入者が増えたために価格競争が激しくなっているという。

輸出も成長市場だ。インドの二輪車メーカーがアフリカや中南米、南アジアでモデル投入を加速させているのに伴い、二輪・三輪車用タイヤの需要が高まっている。T V S は数年前から二輪・三輪車用タイヤの輸出を手掛けているほか、2 年前に欧州で農業機械用ラジアルタイヤの販売を開始した。

【インド—IT】

NEC、IIT ボンベイ校と共同研究で合意

NEC は 3 日、インド工科大学(IIT)ボンベイ校(西部マハラシュトラ州)と共同研究の実施で合意したと発表した。IIT との共同研究は今回が初となる。社会問題の解決に向けて、人工知能(AI)など先端技術を用いた研究を進める。

現地法人 NEC テクノロジーズ・インド(NEC TI)と IIT ボンベイ校が覚書を交わした。AI やビッグデータ分析、モノのインターネット(IoT)などに関する研究を共同で行い、政府が推進する環境配慮型都市(スマートシティー)開発や物流・交通部門の施策に役立てる狙い。

NEC の広報担当者によると、デリー・ムンバイ産業大動脈開発公社(DMICDC)との合弁会社を通じて実施している物流可視化サービスで蓄積した知見を生かし、まずはビッグデータの分析による物流コンテナ輸送の最適化について研究する方針。交通分野ではインドでシステムの導入実績があるバス高速輸送システム(BRT)の知見を生かせるかとみている。

NEC によると、2012 年以降、IIT ボンベイ校の卒業生 30 人以上が日本にある NEC の中央研究所に就職している。両者は今回の合意を通じ、関係をさらに強化する考えだ。

【インド—IT】

マレーシアの IT 企業、インド同業の株式取得

マレーシアの石油・ガス、電力業界向けのエンジニアリング業者、セルバ・ダイナミック・ホールディングスは 5 日、全額出資の IT 子会社、セルバ・ダイナミック IT ソリューションズがインドの同業 e ノア i ソリューション・インドの株式 30% を 360 万米ドル(約 4 億 700 万円)で取得すると発表した。

e ノアは統合医療、保険、製造業、自動車などの分野の企業に IT ソリューションを提供しており、資本金は 837 万ルピー(約 1,330 万円)。

今回の株式取得は、セルバが e ノアの技術を生かし、IT 事業の強化するとともに、インド市場への進出を図ることが狙いだ。

【インド—運輸】

高速鉄道前倒しも、22 年一部開業検討

【ニューデリー共同】日本の新幹線方式を採用したインド初の高速鉄道建設を進める「高速鉄道公社」のアチャル・カレ総裁は 6 日までに共同通信のインタビューに応じ、独立 75 周年となる 2022 年に合わせ、予定より 1 年前倒しで一部開業したいとの考えを明らかにした。一

方、土地収用は反対運動で難航しており、計画全体に影響を与える可能性もある。

高速鉄道は西部の商業都市ムンバイとアーメダバードの約 500 キロを結び、所要時間は在来線特急の 3 分の 1 となる約 2 時間に短縮される。日本とインドの両政府

は今年11月の首脳会談で、23年の全線開通を目指す方針を確認した。

カレ氏はこれを踏まえた上で「22年の独立記念日(8月15日)はとても重要。この日に何かできるよう全力を尽くしたい」と話した。

対象となるのはグジャラート州のスラトとピリモラ間で、工事が比較的容易で土地収用の反対運動も起きていない区間。「日印双方にとって無理なことはない」とも述べ、営業運転ではなく試運転開始にとどめること

【インド—運輸】

トラックレンタル料、供給過剰で5%下落

インド国内のトラックレンタル料が祭事期後に下落に転じた。業界動向を追跡するインド輸送調査訓練財団(IFTRT)によると、下落幅は5~6%。ファイナシヤル・エクスプレス(電子版)が6日に伝えた。

祭事期が終わって運転手が業務に復帰し、トラックの供給が増えたことが主因。貨物量が祭事期後に減少していることや原油の国際価格が低下したことも影響して

も検討しているとした。

マハラシュトラ州を中心に起きている反対運動については「対話を通じて解決する」とし、来年1月までに土地収用と補償のめどを付けたい考えだ。

しかし、インドでは来春にも総選挙が予定されており、野党が政治問題化することで、さらに長期化することも考えられる。鉄道や駅舎などの建設に関する入札も当初の予定から遅れており、カレ氏は「19年中にすべての入札を終えたい」との意向を示した。

【インド—運輸】

インディゴ、ビジャワダー—シンガポール直行便

インドの格安航空会社(LCC)のインディゴは4日、シンガポールとインド南部アンドラプラデシュ州ビジャワダを結ぶ直行便を就航した。ビジャワダ空港から発着する初の国際路線となる。

直行便は週2便(火、木曜)運航。往路は午後2時のシンガポール発、同4時15分(現地時間)のビジャワダ着。復路は午後6時20分のビジャワダ発、翌日午前1時45分のシンガポール着となる。

インディゴはシンガポール行きの直行便として、ビジ

ヤワダ線のほかにチェンナイ線を週2便、ベンガロール(バンガロール)、コルカタ、ティルチラパッリ線をそれぞれ週1便運航している。

アンドラプラデシュ州はインド国内でも日本企業の進出が多い州の1つとなっている。2014年に同州北部がテランガナ州として分離・独立したのに伴い、州都がハイデラバードからアマラバティに移転された。アマラバティでは、日本政府がスポーツシティーや電機シティーの開発を支援している。

【インド—鉄鋼】

インド独自の鉄鋼品質検査、EUが異議

海外から輸入される鉄鋼製品に独自の品質基準を課すインドの制度について、欧州連合(EU)が世界貿易機関(WTO)の「貿易の技術的障害(TBT)委員会」に改めて異議を申し立てたことが分かった。EU域内から輸出される鉄鋼製品は国際基準を満たしており、同制度は非関税障壁に当たるとの立場だ。ビジネス・ライン(電子版)が5日に伝えた。

インドは、国内で使用される鉄鋼製品にインド標準局(BIS)の認証を受けた研究所での検査を義務付けている。制度は2016年に導入され、今年6月にステンレ

ス鋼板など16品目が加わった。全体では炭素鋼50品目とステンレス鋼3品目が対象で、国内で使用される鉄鋼製品の85~90%が該当するとされる。

鉄鋼製品は世界的に生産能力が過剰で、国内産業の保護が課題となっている国も多い。インド政府の関係者は「EU自体もインドから輸入される鉄鋼製品への緊急輸入制限(セーフガード)措置の導入を検討している」と指摘。品質検査の義務化は国内メーカーも対象で、輸入の抑制が目的ではないとしている。

【インド—サービス】

飲食店検索ゾマト、ドローン開発企業を買収

インドの飲食店検索サイト「ゾマト」は 5 日、ドローン(小型無人機)の開発を手掛ける地場新興企業テックイーグル・イノベーションズを買収したと発表した。ファイナンシャル・エクスプレス(電子版)が伝えた。

ゾマトは、テックイーグルとの提携を通じ、ドローンを活用した料理宅配サービスの実現を目指す。ゾマトの創業者でもあるデーピンダー・ゴヤル最高経営責任者(CEO)は「ドローンの導入に向け、時間をかけて準備を進めていく」と述べ、「まずは 5 キログラム未満まで積載可能なマルチロータードローンを開発する計画」と明らかにした。

テックイーグルは、インド工科大学(IIT)カンブール校(北部ウッタラプラデシュ州)の学生だったピクラム・ミーナ氏が 2015 年に設立した。同州ラクノーを拠点としている。

ゾマトは、ドローンを活用した料理宅配サービスの実現を目指す。ゾマトの創業者でもあるデーピンダー・ゴヤル最高経営責任者(CEO)は「ドローンの導入に向け、時間をかけて準備を進めていく」と述べ、「まずは 5 キログラム未満まで積載可能なマルチロータードローンを開発する計画」と明らかにした。

【インド—建設】

建設 L & T、南部の水処理施設など受注

インドの建設エンジニアリング大手ラーセン&トウブロー(L&T)は 5 日、総額 210 億 6,000 万ルピー(約 334 億円)の事業を受注したと発表した。水処理施設などを整備する。

水処理関連事業の受注額は 195 億 4,000 万ルピー。南部アンドラプラデシュ州の州都アマラバティで、水処理システムの設計・建設を手掛ける。発注元はアンドラプラデシュ州都地域開発公社(APCRDA)となる。

東部ジャルカンド州では、ジャルカンド都市インフラ

開発公社(JUIDCO)からハザリバグ、ランチ両地区で飲料水の供給事業を受注。水処理施設の建設や給水管の設置などを担う。

このほか、傘下の L & T ジオストラクチャーを通じ、国営電機大手バーラト重電機(BHEL)から石炭および灰処理施設の関連工事を受注。事業地は南部チェンナイのエンノール地区で、受注額は 15 億 2,000 万ルピー。工期は 20 カ月を見込む。

【インド—製造】

サガールセメンツ、同業 2 社を買収

インドのセメント企業サガール・セメンツ(SCL)は 5 日、サトグル・セメンツ(SCPL)とジャジプール・セメント(JCPL)の同業 2 社を買収すると発表した。サガールはサトグルの株式 65%、ジャジプールの全株を取得する。

両社の買収は、事業地域の拡大が目的。サガールの事業は南部が中心で、サトグルは中部マディヤプラデシュ州、ジャジプールは東部オディシャ(オリッサ)州にそれぞれ拠点を置いている。

買収に伴う事業費は 73 億 3,000 万ルピー(約 120 億円)で、サトグルには 42 億 5,000 万ルピー、ジャジプールには 30 億 8,000 万ルピーを投入する。サトグルでは、廃熱回収式の発電設備を併設した年産能力 100 万トンの工場を建設。ジャジプールに関しては、同 150 万トンの粉砕工場を整備する方針だ。

事業はともに 2021 年までに完了する予定で、サガールの年産能力は現行の 575 万トンから 825 万トンに拡大する見通し。

【インド—製造】

鍛造バーラトの株価、17 年 6 月以降の最安値

インドの鍛造品大手バーラト・フォージの株価が 5 日、前日比で 8.5% 近く下落した。終値は 531.95 ルピー(約 850 円)となり、2017 年 6 月 20 日以降の最安値を記録した。ファイナンシャル・エクスプレス(電子版)が 6 日に伝えた。

北米市場で 11 月の大型トラック販売が大幅に落ち込

んだことが売りにつながった。インドの商用車最大手タタ・モーターズの 11 月販売台数が 5% 減少するなど、国内の商用車市場の減速も影響したとみられる。

バーラト・フォージの株価は、今年前半から下落基調にある。5 日の取引では、一時 10% 近く下落した。

【インド—製造】**古紙輸入、中国の規制強化で急拡大**

インドで古紙の輸入が急拡大している。混合古紙が中心とみられ、1カ月当たりの輸入量が、2018/19年度上半期(18年4~9月)に1万9,000トンから15万トンに急増したとの推計がある。ビジネス・ライン(電子版)が3日に伝えた。

背景には、中国による輸入規制の強化がある。国内の製紙業界は政府に対し、古紙の輸入禁止を検討するよう求めている。複合企業(コングロマリット)ITCで板

紙・特殊紙事業を統括するサンジャイ・シン氏は「質の悪い古紙は環境への深刻な脅威であり、持続可能な生産体制の構築を推進してきた地場業界の取り組みを台無しにする」と指摘した。

インドの紙の再利用率は25~30%と、先進国の80~85%と比べて低い。回収されなかった紙の大半は埋め立てられる。国内の関係者からは、インドがごみ捨て場に使われているとの指摘も出ている。

【インド—資源】**政府、ガスパイプライン整備に7千億ルピー**

インド政府は、国内各地でのガスパイプライン網の整備に7,000億ルピー(約1兆1,000億円)を投じる計画だ。プラダン石油・天然ガス相の話として、PTI通信が5日に伝えた。

東部オディシャ(オリッサ)州で開かれているパイプラインなどの腐食管理に関する全国会議で語った。政府は大気汚染対策などの観点から天然ガスの利用を重視している。プラダン氏によると、7,000億ルピーの投資

は第1期分で、バングラデシュを経由し、ミャンマーまでパイプライン網を延伸する計画もあるという。

プラダン氏は一方、オディシャ州について、天然ガスの貯蔵と精製、輸送で膨大なインフラが必要だと指摘。同州では第1期で1,700キロメートルのパイプライン網が整備される見通し。投資額は450億ルピーを見込む。

【インド—経済】**特許付与件数、17年は1.2万件=WIPO**

世界知的所有権機関(WIPO)が3日に発表した報告書によると、2017年のインドの特許付与件数は1万2,387件だった。ファイナンシャル・エクスプレス(電子版)が伝えた。

内訳は国内の企業・個人への付与が1,712件、海外の企業・個人が1万675件だった。17年の出願件数は4万6,582件で、うち国内は1万4,961件、海外は3万1,621

件。

インドの特許付与件数は15年が6,022件、16年が8,248件と増え、過去2年間で2倍以上に増加した。

17年の世界全体の特許付与件数は推定で140万件。首位は中国で42万144件、2位は米国の31万8,829件だった。

【インド—媒体】**ツイッターのハッシュタグ、上位6位は映画**

短文投稿アプリの米ツイッターは5日、今年インドユーザーが最も多く使用したハッシュタグのランキングを発表した。上位6位までをインド南部の映画のタイトルが占め、映画好きの国民性を反映する結果となった。8位には、世界的に広がったセクハラ告発運動の「#MeToo(ミートゥー)」がランクインした。民放NDTVが伝えた。

1位はタミル語のアクション映画「サルカール」だった。7位はテレビ番組名の「ビッグ・ボス・テルグ」で、9位と10位にはクリケット国内プロリーグ「インディアン・プレミア・リーグ(IPL)」に関するワードがそれぞれランクイン。つぶやき(ツイート)が与え

た影響力のランキングは1位がサルカール、2位がミートゥーとなった。

ユーザーのつぶやきで最も話題に上がったアカウント(人物)は、モディ首相だった。2位は最大野党の国民会議派を率いるラフル・ガンジー氏で、上位5位までを政治家が占めた。

つぶやきとともにアップされた写真の中で最も多くの「いいね(ライク)」を獲得したのは、女優アヌシュカ・シャルマとクリケット選手ビラット・コーリ夫妻のツーショットで、21万6,000ユーザーがいいねを押した。

【アフガニスタン—政治】

カブール州全投票が無効に、アフガン下院選

【イスラマバード共同】アフガニスタンで 10 月に行われた下院選(定数 250)の不正を調査している不服審査委員会は 6 日、不正が多数確認されたため、首都カブールのあるカブール州で投票された全ての票を無効とする判断を示した。今後、選挙管理委員会が同州で再選挙を実施するかどうか判断する。

選挙結果はまだ一部の州でしか判明しておらず、さらなる混乱が懸念される。選管によると、同州では約 130 万人が有権者登録していた。

下院選は治安の悪化などから予定より 3 年遅れ、一部の州を除き 10 月 20 日に実施されたが、システムトラブルなどで投票できない事態が相次ぎ、急きょ、翌 21 日も投票が続けられた。選挙前から多数の不正な有権者登録が発覚、政府の準備不足を指摘する声が上がっていた。

今も続く開票作業では、選管職員らが投票用紙に細工するなどの不正が相次いでいる。

アジア情報

【タイ—鉄鋼】

アルミ S U S、タイ事業に 3 年で 20 億円投資

ファクトリーオートメーション(F A)向け機械装置などの製造・販売を手掛ける S U S(静岡市)は 6 日までに、3 年間で 20 億円をタイ事業に投じる方針を明らかにした。F A 機器向けアルミニウムパーツの加工・組み立て工場を新設するほか、既存工場も増強する。タイでは人件費の上昇などで省人化を進める動きが広まっており、増加する F A 需要を取り込みたい考え。

同社は、アルミフレームや関連部品の生産・加工を行う北部ランブン県の工場で、2019 年春から新たにアルマイト処理を手掛ける計画で、加工から組み立てまでの一

貫体制を敷く方針。

また東部チョンブリ県にあるアマタシティーチョンブリ工業団地(旧アマタナコン工業団地)の工場は、20 年春に工場の一部を 5 階建てに拡張する。これにより生産能力は倍増する見通し。生産能力や供給先などは明らかにしていない。

現地販売会社 S U S B K K のランブン県にある拠点も増強する。既存の施設を建て替え、新たに倉庫や工場を設置することで生産能力の拡大を目指す考え。

【フィリピン—車両】

渦潮電機の e トライク、マニラでも導入開始

マニラ首都圏ラスピニヤス市でこのほど、渦潮電機(愛媛県今治市)の現地子会社 B E M A C エレクトリック・トランスポーターション・フィリピンが製造した電動三輪タクシー(電動トライシクル、e トライク)100 台が引き渡された。エネルギー省の計画に基づき同社の e トライクが配備されるのは首都圏で 2 カ所目となる。6 日付マニラプレティンが伝えた。

ラスピニヤス市とフィリピン・トライシクル組合(T O D A)による合意により、e トライクは市内の公立小学校や中学校、市立大学を含むルートを走行する。学生

は無料で乗車できる。

11 月 9 日には、首都圏モンテルパ市で同社の e トライク 150 台が引き渡された。パテロス町(400 台)とパレンズエラ市(250 台)でも順次導入が決まっている。

エネルギー省はアジア開発銀行(A D B)から 17 億 3,000 万ペソの融資を受け、2019 年 5 月までに国内に e トライクを計 3,000 台導入する計画で、復興中のミンダナオ島マラウイ市でも順次 200 台を納入する。10 月には、ボラカイ島(アクラン州)に 200 台を導入した。

【マレーシア—製造】

東レ、マレーシアで A B S 樹脂の生産増強

東レは 6 日、現地法人の東レプラスチックマレーシア(T P M)が製造・販売する A B S 樹脂「トヨラック」の生産能力を増強すると発表した。T P M の現在の年産

能力に 7 万 5,000 トン上積みし、42 万 5,000 トン体制を敷く。ペナン州の既存工場に隣接する土地を取得し、建屋を建設する。投資額は 100 億円。

新施設ではトヨタックの中でも、世界シェアが首位の「透明」グレードを生産する。2019年1～3月期に着工し、20年11月の稼働を目指す。東レ本社の広報担当者はNNAに対し、「トヨタックには数多くの分類(グレード)があるが、高付加価値商品となる『透明』の拡販を推し進めていく」と述べた。マレーシア拠点の生産増強で、グループ全体のABS樹脂の年産能力は49万7,000トンに引き上がる。

ABS樹脂は、加工に優れた熱可塑性合成樹脂で工業用品から家庭用品まで幅広く使われている。東レによると、17年の世界需要は850万トンで、年率3%の安定成

長が見込まれている。中でも、透明や耐熱、耐薬といった高機能なABS樹脂は世界需要が200万トンと試算され、主に使用される家電やOA機器、自動車、玩具などの高機能化に伴って、年率4%成長が期待されているという。

東レのABS樹脂は「生産工程が一貫した独自の『連続重合生産プロセス』となるため、価格競争力が高い(同広報担当者)といい、主な販売先となる中国や東南アジア諸国連合(ASEAN)市場でも十分に戦える」と話した。また、今回の生産増強で欧米やインド市場への参入と用途拡大も視野に入れる。

【ベトナム—経済】

越企業ランク1位はサムスン、ホンダは9位

調査会社ベトナム・リポートが発表した「ベトナム大企業ランキング」の2018年版で、国営、民間、外資の各企業を合わせた総合順位の1位はサムスン電子ベトナムだった。5日付ダウトゥ電子版が報じた。

総合2～5位は ベトナム電力グループ(EVN) ベトナム石油ガスグループ(ペトロベトナム) ベトナム軍隊通信グループ(ベテル) ベトナム石油グループ(ペトロリメックス) と国営企業が並んだ、1～5位は前年から順位の変動がなかった。

6位には、民間のベトナム投資グループ(ピングルー

ブ)が入った。7～10位は ベトナム農業地方開発銀行(アグリバンク) ベトナム投資開発銀行(BIDV) ホンダ・ベトナム(HVN) ベトナム航空 の順で、トップ10は国営7社と外資2社、民間1社だった。

民間大企業ランキングでは、ピンググループに次ぐ2～10位は テーゾイ・ジードン(モバイル・ワールド) ビナミルク ドージ・ゴールド&ジェムズ チュオンハイ自動車(Thaco) ホアファット・グループ FPT ベトジェット航空 ティンブオン銀行(VPバンク) マサン・グループ の順だった。

予 定

7日

10月景気動向指数ほか

【国内】

<政治>

- ・参院本会議(国会。入管難民法改正など)

<経済>

- ・10月の景気動向指数(14時、内閣府)
- ・10月の家計調査(8時30分、総務省)

<社会>

- ・JR東日本が、山手線6駅で人工知能(AI)を活用した案内システムを駅や駅ナカの商業施設で実証実験(～2019年3月15日、東京都・東京、浜松町、

品川、新宿、池袋、上野の6駅)

- ・神戸ルミナリエ(～16日、神戸市)

【海外】(現地日程)

- ・11月の米雇用統計発表(8時30分、米国・ワシントン)
- ・メルケル首相の後任党首を選ぶドイツCDU党首選(ドイツ)
- ・真珠湾攻撃の犠牲者追悼式(米国)

情報提供：共同通信

2019年アジア駐在員景況感調査

アジアの駐在員を対象に景況見通しアンケート調査を実施
アンケートにご協力ください

アンケート実施中

調査期間

12月9日(日)まで

ギフト券1,000円分を
20名様にプレゼント!



L G B T に罰金 8 千円

L G B T に罰金 8 千円

インドネシアの西スマトラ州パリアマン市は「公共の秩序を乱す」と判断された場合、L G B T (レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー) に 100 万ルピア (約 8,000 円) の罰金を科す条例を制定した。インドネシアでは 2019 年 4 月に大統領選と総選挙を控え、L G B T など社会的少数派を迫害する傾向が高まっている。

ジャカルタ・ポストによると、パリアマン市は 11 月末、「L G B T と疑われる行為」を禁止する条例を可決した。副市長によると、「市民の間で L G B T に対する不安が広がっていること」を新条例制定の理由に挙げた。フィットゥリ市議会議長は「同性愛者やトランスジェンダーが公共の秩序を乱した場合に罰金を科す」と説明した。

西スマトラ州はこのほど、L G B T に関する会合を実施、イルワン州知事は「少なくとも L G B T の人口増加をくい止める」と述べた。同州のパダン市長は、市内から L G B T を根絶すると公言している。

二枚舌

看守さん、助けてくれ！ヘビが出た！でかいヘビがいる。タイの警察官が子供だましのうそに引っかかり、麻薬犯に脱走される失態を演じて失笑を買っている。11 月 21 日付地元紙デーリニューズが報じた。

事件が起きたのは中部アユタヤ県サナオ郡の警察署。20 日夜、麻薬密売容疑で拘置所に収監されていたアナン容疑者 (23) が排水溝からヘビが出たと騒ぎ出した。監視に当たっていたのはラチャダー巡査部長。しばらくは放っておいたが、万が一毒蛇だとまずいことになるな、助けてやるかと腰を上げ、懐中電灯を持って牢屋に入った。排水溝や部屋の隅を照らして検査を始めたが、ヘビの姿は見当たらない。その直後、背後でガチャリと音がした。はっとして振り返るも後の祭り。巡査部長は檻の中に閉じ込められ、アナン容疑者はちらりと舌を出すと、そのまま建物の外へ消えてしまった。

アユタヤ県警は容疑者脱走の一報を受けると、直ちに捜査員 200 人を動員して山で捜査を敢行。約 3 時間後、警察署から 1 キロほど離れた場所で同容疑者を発見・捕捉し、何とか最悪の事態を免れた。

タイでは昨年も、面会に来た妻と麻薬密売容疑者の熱い抱擁を正視できずにまんまと脱獄された警察官の失態が話題になった。人情派の警官があまり多いのも考えものだ。

蘋果日報一面に桜木花道

新聞一面に桜木花道が登場。香港紙・蘋果日報は 11 月 28 日付紙面で、日本の人気バスケットボール漫画「スラムダンク」の主人公「桜木花道」を描いたポスターを一面

に採用し、香港のファンの中で話題を呼んでいる。

ポスターはスラムダンクの新装再编版コミックスを P R するもので、新聞 2 ページ分の大きさ (縦約 55 センチ、横約 70 センチ) で展開。桜木花道が神奈川県ナンバー 1 プレーヤーと称される海南大附属高校の牧紳一に挑む場面を描き、両手でボールを持つ桜木花道と「我要超越神奈川 No. 1 (神奈川 No. 1 を超えてやる)」の一文を添えている。

28 日付紙面では各ページ上部で、桜木花道の所属する湘北高校バスケットボール部の主要な登場人物のプロフィールも紹介。同紙のロゴであるリンゴをボールに見立て、ダンクシュートをしている絵柄も載せた。

蘋果日報電子版によると、この日は香港の多くのスラムダンクファンが紙面をまとめ買いした。「作品を読んでいた学生時代を思い出した」「次は (湘北バスケット部の) 三井寿のポスターが欲しい」などと歓迎する声を紹介した。

韓国瑜氏、04 年に過失致死罪で有罪

11 月 24 日の統一地方選で白熱の選挙レースを制し、次期高雄市長に選出された韓国瑜氏が 2004 年、自動車を運転中に死亡事故を起こしていたことが明らかになり、波紋を呼んでいる。韓氏は 29 日午後、選挙前に公表しなかったことについて、「遺族を再び傷つけないかった」と釈明した。29 日付自由時報などが伝えた。

韓氏は 04 年 1 月 3 日に李佳芬夫人を乗せて車を運転中、雲林県の西螺新社路と興農西路の交差点で大型バイクと衝突した。バイクに乗車していた男性 2 人のうち 1 人は、事故から 8 日後に脳内出血のため死亡。韓氏は過失致死罪の容疑で起訴された。

台湾雲林地方法院は公判で、優先道路を走行していたバイクを先行させなかったことなどから、韓氏に一定の過失があることを認定。一方で、バイクの運転手が無免許運転であったことや、法定速度の 50 キロを上回る 90 キロで走行していたことも考慮し、韓氏に懲役 6 カ月、執行猶予 2 年の判決を言い渡した。

この事実は公にされてこなかったが、投票日前日にインターネット上で拡散。当選した 24 日夜、韓氏は「14 年前に運転中に死亡事故を起こした」と告白したが、詳細については語らなかった。

韓氏の選挙事務所の發言人 (スポークスパーソン) は 29 日午前、メディアに対し「韓氏は遺族と和解している。道義的、法的に責任を負い、深く反省している」と述べた。また、韓氏が遺族に対し、賠償金 450 万台湾元 (約 1,660 万円) を支払ったことも発表。さらに対立候補であった民主進歩党 (民進党) の陳其邁氏は、早くにこの事実を知っていたが、遺族の心情を考慮して、選挙活動に利用しなかったことも明らかにした。

アジア・豪州経済統計 Economic Statistics

2018年12月

東アジア・豪州	日本	中国	香港	台湾	韓国	豪州
統計月	2018年7～9月	18年7～9月	18年7～9月	18年7～9月	18年7～9月	18年7～9月
GDP伸び率(%)	▲1.2	6.5	2.9	2.3	2.0	2.8
統計月	2018年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年7～9月
CPI	1.0	2.5	2.7	1.2	2.0	1.9
統計月	2018年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年10月
外貨準備高(億米ドル)	12,528.73	30,530.98	4,231.67	4,601.78	4,027.5	453.71
統計月	2018年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年10月	18年9月
輸出額	72,438.75	2,172.80	3,836.51	295.66	549.44	374.96
輸入額	76,940.06	1,832.70	4,281.42	262.10	484.78	344.79
貿易収支	▲4,501.31	340.2	▲444.90	33.56	64.66	30.17
単位	億円	億米ドル	億香港ドル	億米ドル	億米ドル	億豪ドル
統計月	2018年10月	18年7～9月	18年8～10月	18年10月	18年10月	18年10月
失業率(%)	2.4	3.8	2.8	3.8	3.5	5.0
統計月	2018年9月	18年10月	18年4～6月	18年10月	18年7～9月	18年7～9月
海外直接投資受け入れ	25,044	644.60	1,239.09	7.98	34.5	1,221.48
単位	億円	億人民元	億香港ドル	億米ドル	億米ドル	億豪ドル
前年同月(期)・比伸び率(%)	▲26.1	7.2	▲57.9	120.5	▲13.6	263.8

東南アジア・インド	タイ	ベトナム	マレーシア	シンガポール	フィリピン	インドネシア	インド
統計月	18年7～9月	18年1～9月	18年7～9月	18年7～9月	18年4～6月	18年7～9月	18年7～9月
GDP伸び率(%)	3.3	7.0	4.4	2.2	6.0	5.2	7.1
統計月	18年11月	18年11月	18年10月	18年10月	18年10月	18年11月	18年10月
CPI	0.9	3.5	0.6	0.7	6.7	3.2	3.3
統計月	18年10月	18年7月	18年11月	18年10月	18年10月	18年10月	18年11月
外貨準備高(億米ドル)	2,020	635	1,021.00	2,902.71	747.70	1,152.00	3,927.85
統計月	18年10月	18年1～11月	18年9月	18年10月	18年9月	18年10月	18年10月
輸出額	216.90	2,236.30	830.00	363.54	58.27	158.00	269.80
輸入額	204.30	2,168.20	678.00	330.43	97.54	176.20	441.10
貿易収支	12.60	68.10	153.00	33.11	▲39.27	▲18.20	▲171.30
単位	億米ドル	億米ドル	億リンギ	億米ドル	億米ドル	億米ドル	億米ドル
統計月	18年10月	17年1～12月	18年9月	18年9月	18年7月	18年8月	18年11月
失業率(%)	1.0	2.2	3.3	2.1	5.4	5.3	6.5
統計月	18年9月	18年1～11月	18年7～9月	17年通年	17年通年	18年1～9月	18年4～6月
海外直接投資受け入れ	9.55	308.36	39.00	85.42	1,056.39	293.70	127.52
単位	億米ドル	億米ドル	億リンギ	億米ドル	億ペソ	兆ルピア	億米ドル
前年同月(期)・比伸び率(%)	78.3	▲6.8	39.30	18.6	▲51.8	▲7.8	23.0

- ・政府・証券取引所公表資料により作成
- ・▲はマイナス
- ・伸び率は前年同月(期)比、台湾のCPI上昇率は2016年の平均を100として算出
- ・フィリピンの失業率は2005年4月から新基準により算出
- ・インドネシアの海外直接投資受け入れは、石油ガス・金融向け投資を除いた額
- ・フィリピン、ベトナムの海外直接投資受け入れは認可額
- ・インドは2012年1月分から従来のWPIに代わりCPIを表示

(Bloombergより作成)

海外主要市場の商品市況

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
LME (06日10時40分)	銅先物	6090.50	-84.50	NYMEX (06日5時40分)	WTI原油先物	バレル	50.85	-2.04
	銅現物	6175.00	-37.50		天然ガス先物	MMBTU	4.43	-0.04
	アルミニウム先物	1938.50	-30.50		ガソリン先物	ガロン	138.80	-5.76
	アルミニウム現物	1970.25	-2.25	COMEX (06日5時40分)	灯油先物	ガロン	182.93	-5.93
	すず先物	18925.00	-255.00		金先物	トロイオンス	1241.50	-1.10
	すず現物	19203.00	18.00		銀先物	トロイオンス	14.43	-0.15
	鉛先物	1966.00	-17.00	SICOM(06日18時40分)	ゴムRSS3先物	キログラム	138.20	1.30
	鉛現物	1969.00	-20.25	シカゴ (06日4時40分)	小麦先物	ブッシェル	516.75	-1.25
	ニッケル先物	10960.00	-265.00		大豆先物	ブッシェル	908.25	-5.25
	ニッケル現物	11020.00	-245.00		トウモロコシ先物	ブッシェル	384.00	-0.25
	亜鉛先物	2579.00	-39.00	ICE(06日5時40分)	砂糖先物	ポンド	12.56	-0.16
	亜鉛現物	2743.00	32.00	日本(06日19時40分)	ナフサ先物	トン	490.50	-1.00
上海 (06日18時40分)	亜鉛先物	21270.00	85.00	ドバイ(06日14時40分)	ドバイ原油	バレル	59.33	-0.90
	金先物	279.90	1.20	ロンドン(06日10時40分)	北海ブレント	バレル	57.93	-2.68
	鉛先物	18530.00	-30.00	SICOM=シンガポール商品取引所				
	銅先物	49150.00	-270.00	ICE=インターコンチネンタル取引所 (アメリカ)				
	鋼線先物	3697.00	0.00	※括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				
	アルミニウム先物	13665.00	-90.00	※限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月				

LME=ロンドン金属取引所

NYMEX=ニューヨーク・マーカンタイル取引所

COMEX=ニューヨーク商品取引所

※値：SICOM、シカゴは米セント。上海は中国元。それ以外は米ドル

■為替クロスレート 2018/12/6 19:30 JST (日本標準時)

通貨コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MMK	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0089	0.0078	0.0069	0.0611	0.0693	0.2740	9.9579	0.2915	206.862	13.70516	0.0369	0.0122	129.283	0.4694	0.6286	0.0123	0.0129
米ドル	112.7550		0.8814	0.7853	6.8926	7.8123	30.8815	1122.67	32.8640	23320.0	1545.000	4.1658	1.3719	14577.8	52.9210	70.8703	1.3892	1.4565
ユーロ	128.413	1.1346		0.8910	7.8200	8.8634	35.0368	1273.72	37.2860	26457.8	1752.89	4.7263	1.5564	16539.3	60.0418	80.4062	1.5761	1.6525
英国ポンド	144.124	1.2733	1.1223		8.7765	9.9476	39.3225	1429.53	41.8469	29694.2	1967.30	5.3045	1.7468	18562.4	67.3862	90.2417	1.7689	1.8546
中国人民幣元	16.3579	0.1451	0.1279	0.1139		1.1334	4.4804	162.881	4.7680	3383.36	224.155	0.6044	0.1990	2115.01	7.6780	10.2822	0.2015	0.2113
香港ドル	14.4330	0.1280	0.1128	0.1005	0.8823		3.9529	143.705	4.2067	2985.05	197.766	0.5332	0.1756	1866.01	6.7741	9.0717	0.1778	0.1864
台湾ドル	3.6498	0.0324	0.0285	0.0254	0.2232	0.2530		36.3540	1.0642	755.145	50.0300	0.1349	0.0444	472.056	1.7137	2.2949	0.0450	0.0472
韓国ウォン	0.1004	0.0009	0.0008	0.0007	0.0061	0.0070	0.0275		0.0293	20.7720	1.37619	0.0037	0.0012	12.9850	0.0471	0.0631	0.0012	0.0013
タイバーツ	3.4307	0.0304	0.0268	0.0239	0.2097	0.2377	0.9397	34.1609		709.591	47.0119	0.1268	0.0417	443.580	1.6103	2.1565	0.0423	0.0443
ベトナムドン	0.0048	0.0004	0.0004	0.0003	0.00030	0.00034	0.0013	0.048	0.0014		0.06625	0.0002	0.0001	0.6251	0.0023	0.0030	0.00006	0.0001
ミャンマーチャット	0.0730	0.00065	0.00057	0.00051	0.00446	0.00506	0.01999	0.72664	0.02127	15.0939		0.0027	0.0009	9.4355	0.03425	0.04587	0.00090	0.00094
マレーシアリンギ	27.0667	0.2400	0.2116	0.1885	1.6546	1.8753	7.4131	269.496	7.8890	5597.96	370.877		0.3293	3499.40	12.7037	17.0124	0.3335	0.3496
シンガポールドル	82.1921	0.7289	0.6425	0.5725	5.0243	5.6947	22.5108	818.358	23.9560	16998.9	1,126.22	3.0366		10626.38	38.5764	51.6604	1.0126	1.0617
インドネシアルピア	0.0077	0.00007	0.00006	0.00005	0.00047	0.00054	0.0021	0.0770	0.0023	1.5997	0.10598	0.0003	0.0001		0.0036	0.0049	0.0001	0.0001
フィリピンペソ	2.1305	0.0189	0.0167	0.0148	0.1302	0.1476	0.5835	21.2140	0.6210	440.657	29.1945	0.0787	0.0259	275.463		1.3392	0.0262	0.0275
オーストラリアドル	81.1492	0.7199	0.6345	0.5653	4.9617	5.6237	22.2303	808.16	23.6575	16787.1	1112.183	2.9988	0.9875	10493.97	38.0957	51.0167		1.0485
ニュージーランドドル	77.4168	0.6866	0.6051	0.5392	4.7322	5.3637	21.2024	770.791	22.5635	16010.9	1,060.755	2.8601	0.9419	10008.72	36.3341	48.6576	0.9538	

NNAは、メディア事業を通じて、グローバルビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。

■NNA グループ

https://www.nna.jp/corp_contents/company/office

- 【東京】株式会社エヌ・エヌ・エー 本社
- 【北九州】株式会社エヌ・エヌ・エー 北九州事務所
- 【韓国】NNA JAPAN CO., LTD. SEOUL BUREAU、SEOUL BRANCH
- 【上海】上海時迅商務諮詢有限公司
- 【北京】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司
- 【広州】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司
- 【香港】NNA HONG KONG CO., LTD.
- 【台湾】香港商亞洲情報網絡有限公司台湾分公司
- 【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC.
- 【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD.

- 【カンボジア】NNA JAPAN CO., LTD. PHNOM PENH BUREAU
- 【ベトナム】NNA VIETNAM CO., LTD.
- 【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.
- 【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD.
- 【インド】NNA SINGAPORE PTE. LTD. (INDIA LIAISON OFFICE)
- 【インドネシア】PT. NNA INDONESIA

■提携会社

- 【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD.
- 【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB)

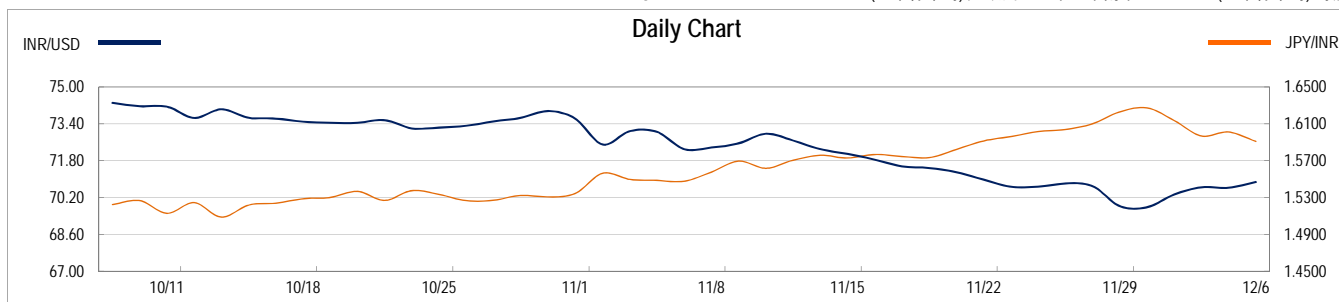


Bloombergより作成の参考値

マーケット情報 為替と株式

為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	6日	77.4168	1.4565	1.6499	アジア	ベトナムドン	6日	0.004834	23,320.00	26,415.15
	オーストラリアドル	6日	81.1492	1.3892	1.5743		欧州	ユーロ	5日	128.4130	0.8814
アジア	日本円	6日	1.0000	112.755	127.697	英国ポンド		5日	144.1240	0.7853	0.8910
	韓国ウォン	6日	0.10042	1,122.665	1,271.502	スイスフラン		5日	113.4660	0.9976	1.1317
	中国人民元	6日	16.3579	6.8926	7.8074	デンマーククローネ		5日	17.2063	6.5781	7.46328
	香港ドル	6日	14.4330	7.8123	8.8481	ロシアルーブル		5日	1.7020	66.5270	75.4742
	台湾ドル	6日	3.6498	30.8815	34.9744	ハンガリーフォリント		5日	0.39710	285.0350	323.3640
	フィリピンペソ	6日	2.1305	52.9210	59.9389	ポーランドズロチ		5日	29.9765	3.7759	4.2838
	シンガポールドル	6日	82.1921	1.3719	1.5537	チェココルナ		5日	4.9574	22.8130	25.8682
	マレーシアリング	6日	27.0667	4.1658	4.7178	スウェーデンクローナ		5日	12.6102	8.9757	10.1836
	タイバーツ	6日	3.4307	32.8640	37.225	北米		米ドル	5日	113.1860	1.0000
	インドネシアルピア	6日	0.007735	14,577.80	16,506.88		カナダドル	5日	84.6834	1.3365	1.5164
インドルピー	6日	1.5908	70.8703	80.2652	中南米	メキシコペソ	5日	5.5185	20.5111	23.2708	

オセアニア・アジア：19:30 JST(日本標準時)、欧州・北米・中南米：06:00 JST(日本標準時)時点



株式													
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比
オセアニア	ウェリントン	NzSX50	6日	8,758.22	-23.31	333.31	アジア	ジャカルタ	JSX	6日	6,115.49	-17.63	-223.75
	シドニー	ASX	6日	5,736.70	-12.40	-429.30		マニラ	Composite PSE	6日	7,535.32	-95.58	-1,188.81
アジア	東京	日経平均	6日	21,501.62	-417.71	-2,004.71		ホーチミン	ベトナム株価指数	6日	954.82	-2.32	-40.95
		TOPIX	6日	1,610.60	-29.89	-253.22		ムンバイ	SENSEX30	6日	35,312.13	-572.28	1,499.38
		JASDAQ	6日	153.81	-2.75	-24.63	欧州	ロンドン	FTSE 100	5日	6,921.84	-100.92	-726.26
	ソウル	総合	6日	2,068.69	-32.62	-410.96		フランクフルト	DAX	5日	11,200.24	-135.08	-1,671.15
		KOSDAQ	6日	678.38	-22.74	-134.07		パリ	CAC40	5日	4,944.37	-68.29	-344.23
	上海	B株	6日	280.50	-2.22	-64.33		アムステルダム	AEX	5日	516.04	-7.19	-28.75
	深セン	B株	6日	864.05	-11.43	-310.94		ミラノ	FTSEMIB	5日	19,328.70	-24.73	-2,516.46
	香港	ハンセン	6日	26,156.38	-663.30	-4,358.93		マドリード	IBEX35	5日	9,012.20	-49.50	-1,066.90
		ハンセンH	6日	10,480.72	-276.23	-1,588.27		ブリュッセル	BEL20	5日	3,442.56	-40.35	-536.97
	台北	加権	6日	9,684.72	-232.02	-1,026.01		チューリヒ	SMI	5日	8,939.96	-145.04	-538.96
シンガポール	ST指数	6日	3,115.52	-40.40	-314.78	北米	ニューヨーク	ダウ	休場				
クアラルンプール	KLSE総合	6日	1,683.34	-4.93	-99.36			NASDAQ	休場				
バンコク	SET	6日	1,653.73	-18.59	-124.80	トロント	トロント300	5日	15,182.64	119.05	-1,127.35		

